

## 維新五綱領概説

一、統帥大権の神聖を確保し私天子義を排す

(暴力及び武道強化)

明治維新の重大なる意義は兵馬の大権天皇に帰し奉り以後政治と軍權の協  
用明瞭となり、策政一致の政體形態の基礎は確立せられたのである。然るに  
欧米文明の没入、科学の勃興に依り、策政一致の政體を實現する暇なくして  
今日に及んだのである。従つて今日の政治現象の間は、たゞはた統帥  
大権の手征事件を惹起し又は政體が神聖なる警察權を私するの現象を呈する  
事頻りである。従つて維新接連の今日に於ても、惟神大権から逸脱した革命主  
義に陥ち入るおそれがある。かゝる際は兵馬統帥の大権をみだし再び明治以  
前の状態に立ち帰るおそれ充分ある。故に内は建設準備工作を進め旧組織  
よりの蟬脱を急ぐべし。然れども、由正せる事象に対しては常に武の精神を